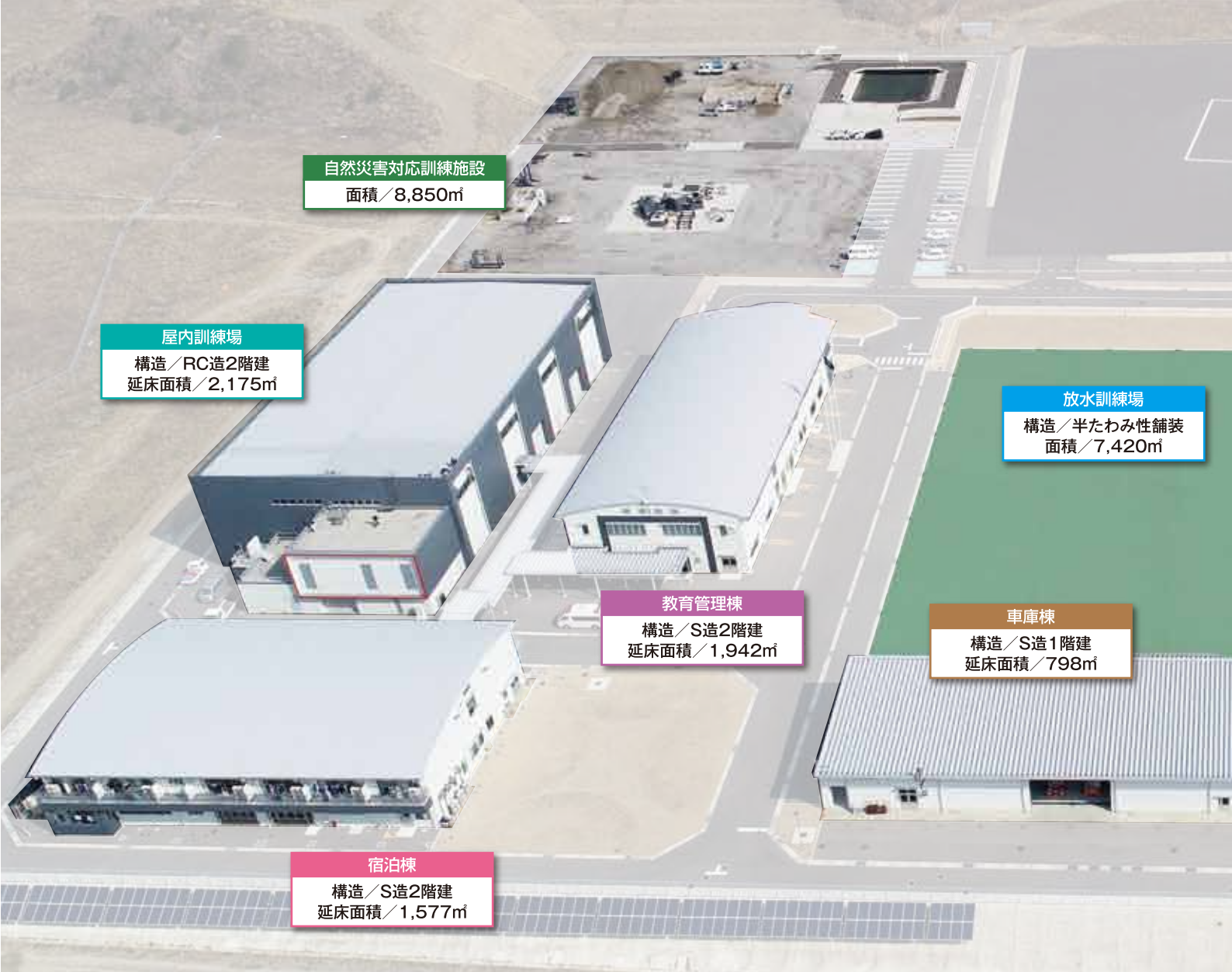




和歌山県消防学校

WAKAYAMA FIRE FIGHTER ACADEMY





地域の防災力を高めるた

消防学校では、消防職員・消防団員に対して消防の責務を正しく認識させ、その任務遂行に必要な知識、技術の習得を図るとともに、体力・気力の錬成と豊かな人間性を培い、地域住民の信頼に応えられる消防人を育成するための教育訓練施設です。





水難救助訓練施設
構造 / RC造1階建 地下1階
延床面積 / 576㎡

救助訓練棟
構造 / S造6階建
延床面積 / 971㎡

高層訓練棟
構造 / RC造地上6階建 地下1階
延床面積 / 1,206㎡

移動式消防訓練施設
構造 / S造2階建 4棟・平屋1棟
面積 / 400㎡

敷地内単独Wi-Fi整備

めの人材育成

和歌山県消防学校の沿革について

- 昭和52年 4月 和歌山県消防学校開校(和歌山市冬野)
- 昭和52年 7月 初任教育第一期生入校
- 昭和53年 1月 救急専科教育第一期生入校
- 昭和53年 2月 消防団幹部教育第一期生入校
- 昭和53年11月 水難救助用プール建設
- 昭和54年11月 消防団普通教育開始
- 昭和56年10月 警防専科教育、予防専科教育、初級幹部科教育開始
- 昭和63年10月 救助専科教育開始
- 平成10年 4月 初の女性消防職員初任教育入校
- 平成24年 1月 消防団専科教育機関科開始
- 平成28年 3月 初の女性教官採用
- 平成29年 4月 和歌山市加太に新築移転
特別教育自然災害対応教育等、新たな6種の教育を開始

CONTENTS

- 概要・目次 2.3
- 自然災害対応訓練施設 4
- 高層訓練棟 5
- 屋内訓練場 6
- 水難救助訓練施設 6
- 移動式消防訓練施設 7
- 放水訓練場 7
- 救助訓練棟 8
- 車庫棟 8
- 教育管理棟 9
- 宿泊棟 9
- フロアマップ 10.11

自然災害対応訓練施設

Natural disaster training factory

監修／日本大学理工学部 土木工学科 関 文夫 教授
建築学科 宮里 直也 教授

和歌山県沖での発生が予測される南海トラフ地震や風水害等大規模災害に対応するための実践的訓練が行える。



水濠訓練場



各種水害に対する対応訓練を行う。暴風雨を発生させることができ、徒歩による検索、ボートによる救助、浸水車両からの救助、中洲救助など、様々な現場を想定し訓練を行う。

土嚢訓練場



建物の浸水や土手からの越水に対応するための、各種土嚢工法訓練を行う。

車両破壊訓練場



各種救助資器材を用い、事故車両から人命を救助する訓練を行う。

土砂災害訓練場



重機により車両・訓練人形等を土砂に埋没させ、土砂災害からの救助訓練を行う。



倒壊家屋訓練施設

フォークリフトにより鉄製ユニットを縦横自在に配置し、複雑な災害現場(倒壊建物)を想定し、救出訓練を行う。その他、重量物の持ち上げ・移動・安定化、コンクリート破壊、建物の補強など、様々な訓練を行う。



高層訓練棟

High-rise training building



高さ32m。各種警防・救助訓練や、予防に関する学習が行える。

山岳救助訓練施設



岩肌の法面及び立木を想定しており、道路から滑落した人命の救出訓練を行う。また、ウインチにより車両を引き上げ、滑落した車両からの救助訓練を行う。

蒸気迷路検索訓練室



蒸気を発生させ、視界不良の環境を作り出す。金属製の間仕切りを自由に組み替えることができる。

消火訓練施設



ガスを燃焼させ、ロールオーバーやフラッシュオーバーといった各種燃焼現象を発生させることができる。

訓練の際は、隣の監視室から安全管理が行える。

燃焼実験室



スプリンクラー散水検証室



非常用(訓練用)エレベーター



消防用設備実験室



屋内訓練場

Indoor training ground

渡過訓練、登はん訓練、降下訓練、斜めブリッジ救助訓練、
3連梯子訓練、ポンプ操法訓練など、雨天時にも各種訓練が可能。



トレーニングルーム

水難救助訓練施設

Waterfowl rescue training factory

プールサイドに支点を複数設けており、
各種水難救助訓練を行うことができる。



6コースの25mプール。12m×10mの床面を、最大4.5mの深さまで可動
させることができる。



監視窓



水中に配置した訓練人形や潜水隊員を
死角なく常時視認することができる。

移動式消防訓練施設

Mobile Firefighting Training



一般住宅や共同住宅を模した簡易建物を組み合わせ、町並みを表現し、実践的な火災対応訓練が行える。

消防訓練



備え付けの消火栓等から吸水、ホース延長、放水活動といった一連の訓練を、複数の隊が同時に連携して行える。



放水訓練場

Water discharge training area

雨水や放水訓練に使用した水は、200t水槽に戻る仕組みとしている。



救助訓練棟

Rescue training building

渡過訓練、登はん訓練、降下訓練、3連梯子訓練など各種訓練が可能。
全国消防救助技術大会規格に準じており、陸上の部の全ての競技が可能。



車庫棟

Garage building



ロッカールーム
(防火服ロッカー)





教育管理棟

Education administration building

ICT(情報通信技術)を活用し、入校生が充実した環境で学習できるよう配慮している。

大教室兼講堂
(150名収容)



教育訓練(講演会)や各種式典に使用する。

普通教室・理化学室
(60名・40名収容)



化学実験や火災調査に関わる実習等を行う。

救急実習室



ICTを活用し活動内容を隣室のモニターで確認することができる。

図書室・視聴覚室



消防関係書籍・パソコンを配備しており、資料の作成や映像による学習ができる。

校長室



教官控室



エントランス



医務室



宿泊棟(誠心寮)

Accommodation building

居室は、10室60人(1室6人個室化)で、うち女性用居室を1室とし、プライバシーに配慮した環境としている。

居室



居室



女性専用エリア



食堂



大浴場



洗面スペース



ランドリー



寮内



フロアマップ

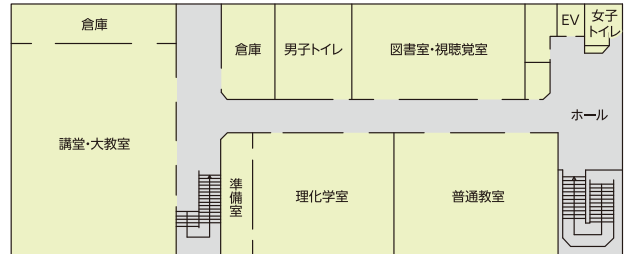
Floor map

教育管理棟

1F

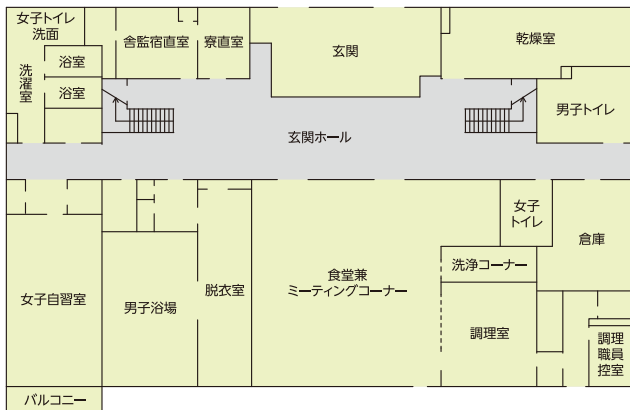


2F

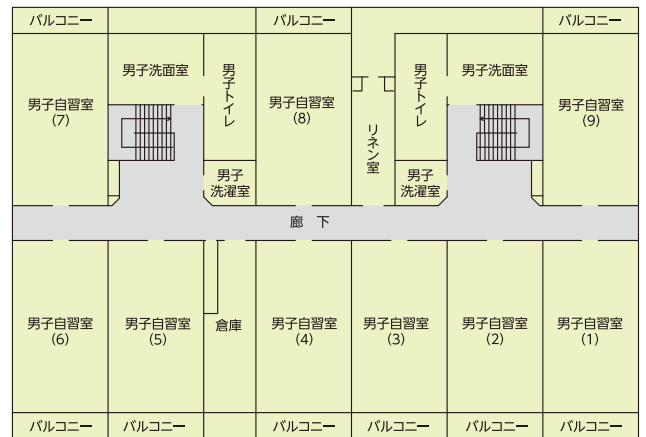


宿泊棟

1F

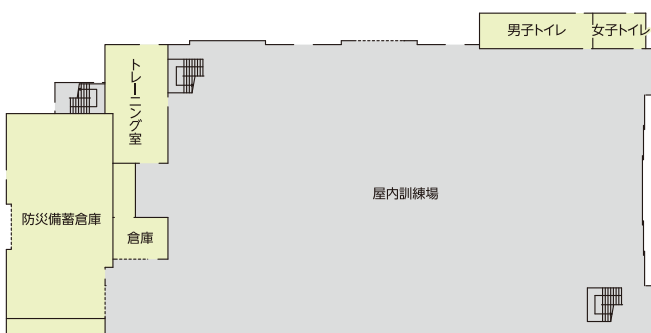


2F

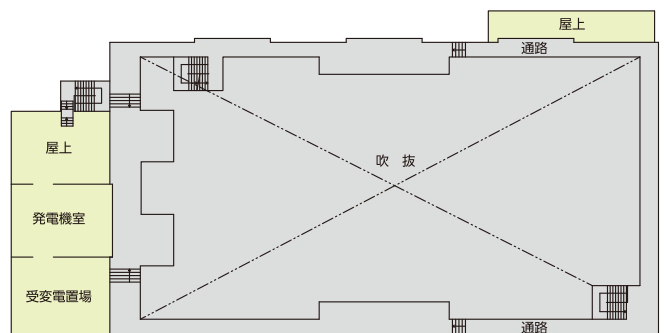


屋内訓練場

1F

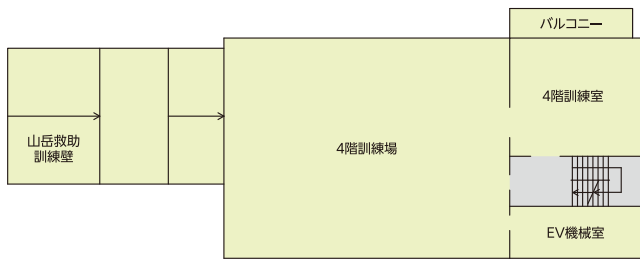


2F



高層訓練棟

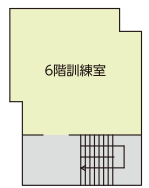
4F



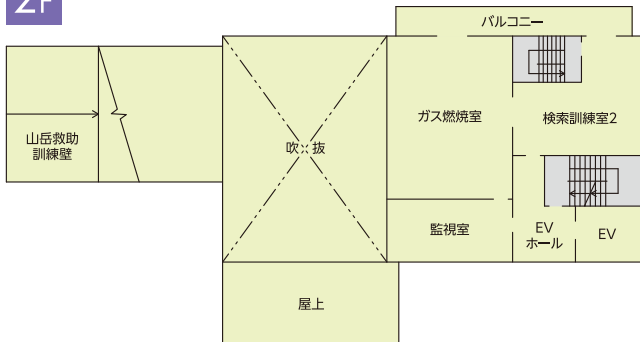
5F



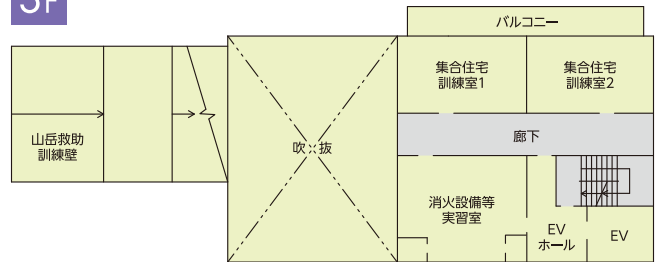
6F



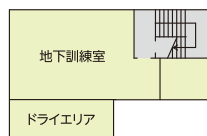
2F



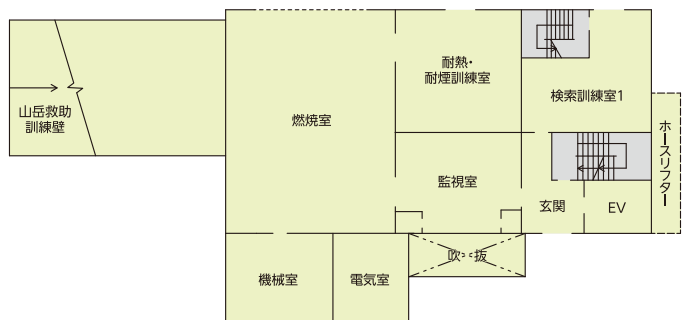
3F



B1F

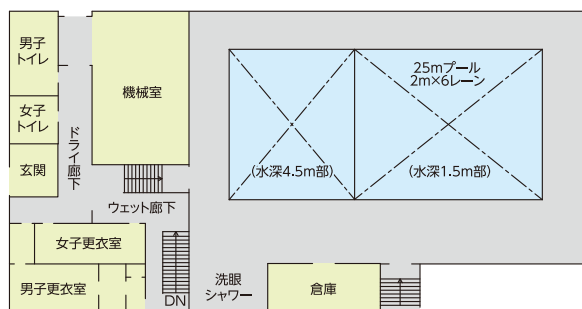


1F

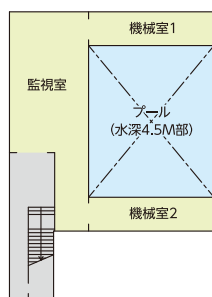


水難救助訓練施設

1F



B1F



車庫棟

1F



和歌山県消防学校 校歌

作詞 山下わたる
作曲 泉 眞佐男

♩ = 110 ca.

みどりなす きぼうのおかに
わがまなびやは ましろにはえる
じちのまもりをいのちとぎめて ともーに
みがかん ちせいとわぎーを
おおわかやまけんしょうぼーがっこう

1. 緑なす 希望の丘に
わが学舎は真白に映える
自治の守りを生命と決めて
共に磨かん 知性と業を
おお 和歌山県消防学校
2. みはるかす 大地を蹴って
いま明朝に朝日は昇る
ゆくて遮る水火も辞せず
血潮たぎらす 熱意と闘志
おお 和歌山県消防学校
3. 咲き匂う 奉仕の庭に
いざ誠心の気をもて生きん
風にはためく校旗を仰ぎ
つどう精鋭 誇りは規律
おお 和歌山県消防学校



和歌山県消防学校 WAKAYAMA FIRE FIGHTER ACADEMY

〒640-0103 和歌山県和歌山市加太2362-19
TEL.073-488-8860 FAX.073-459-0039
e-mail e0109011@pref.wakayama.lg.jp
http://www.pref.wakayama.lg.jp/

アクセス

- 和歌山ICより40分
和歌山北ICより35分
- 南海和歌山市駅より25分
バス停(日野口バス停)から 徒歩2km
- JR和歌山駅より35分
南海和歌山市駅より25分

和歌山県消防学校 🔍



リサイクル適性(A)